

排水処理技術で地球を持続可能にする

にほん こうぎょうかぶしがいしゃ
日本エンバイロ工業株式会社

〒482-0014 岩倉市大山寺町神田 45
TEL: 0587-22-6557
http://j-enviro.co.jp



■ 会社概要

1975（昭和 50）年に設立した公害防止機器の開発・製造をする会社です。本社、東京支店の 2 ヶ所の事務所、大阪営業部、名古屋営業部で仕事を受注し、本社のそばにある工場で組立、検査、出荷を行なっています。2 日ほどで組み上がる機械から、縦 13 メートル、横 40 メートル、高さ 8 メートルの敷地に収める大規模な設備まで納入実績があります。2024（令和 6）年 12 月現在の社員数は 28 名。少人数で高い技術力を持つものづくりをしていることが強みです。



社会が繁栄するために欠かせない企業活動。その裏で、排出される有害物質が環境に悪影響を与え、私たちの健康を脅かすこともあります。そんな中、先進技術を駆使して有害物質を取り除く機械を開発・製造し、地球環境を守っている会社が岩倉市にあります。

公害対策の時代に設立

戦後の高度経済成長期は、日本が急速な工業化と経済発展を遂げた時期ですが、一方で公害問題が深刻化しました。その状況を受けて 1970（昭和 45）年に公害関係 14 法律が成立し、企業は自社の企業活動から出る汚染物質を適切に管理することを求められるようになりました。

弊社は、法律成立の 5 年後である 1975（昭和 50）年に設立し、主に中小企業が公害対策を進めるための機械や設備を設計・製造・販売しています。

環境を守る排水処理技術

「自然みずからの浄化能力に任せることのできる段階まで処理する」機械を長年のノウハウと実績で世の中に送り出しています。

弊社の製品は、メッキを扱う企業で多くご利用いただいています。メッキ工程で使用する化学薬品や金属が排水の中に含まれることがあり、それらを適切に処理しないと環境汚染を引き起こすからです。

フィルタープレスという機械は、工場から排出される泥状の液体の中から、有害物質を圧縮して取り除き、排水を国の放流基準値内に収めます。有害物質を取り除いて液体を繰り返し使えるようにする、ろ過機も扱っています。

持続可能な環境のために

「自然と人の共生を第一に考える」ことを基本にしている、そのコンセプトを製品に反映させています。

泥状の液体の中から有害物質を圧縮して取り除くフィルタープレスでは、「ろ布」が有害物質を液体から分離する役割をしています。他社では、ろ布が汚れたら廃棄する仕様になっていることが多いのですが、当社では洗浄して繰り返し使えるように設計されており、環境負荷を低減しています。

また、工場で使用する際の消費電力を減らし、CO₂削減に貢献するため、フィルタープレスには圧力を検知して一時停止させるシステムを搭載しており、特許を取得しています。



「2025（令和 7）年に創業 50 周年を迎えることを機に、IoT 機能を備えた機械の開発や、技術者の採用・育成に益々力を入れていきたいと思っています」と朗らかに語る桐澤代表取締役。その言葉から、技術開発にかける前向きで熱い情熱が垣間見えます。